

[JSCM 企画講演(3)]

J-Rail 特別セッション企画

レール、車輪接触問題における鉄道試験線の必要性
車両メーカーにおける試験線の整備とその利用法

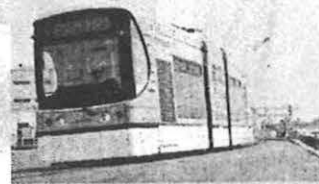
平成21年12月2日

川崎重工業㈱ 車両カンパニー
奥 保 政

P1

Kawasaki

低床電池駆動LRV「SWIMO-X」開発における
播磨実験線の活用について



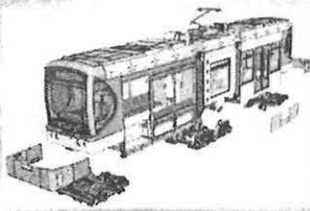
KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

P2

Kawasaki

SWIMO-Xの開発項目

1. 低床式LRV
 - ・3車体3台車、小径車輪台車(先頭台車)、独立車輪(中間台車)
2. 電池駆動
 - ・電池性能 充放電制御



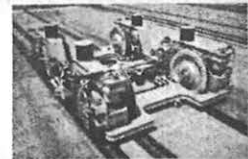
KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

P3

Kawasaki



先頭台車



中間台車

KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

P4

Kawasaki

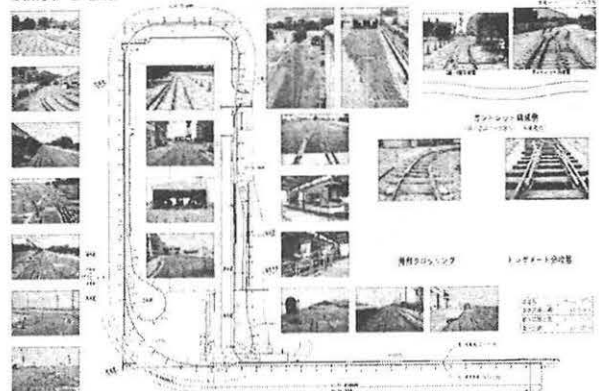
試験線の概要

1. 狭軌・標準軌の3線軌道(1部狭軌、標準軌の専用軌道)
2. 総延長 2,780m(狭軌、標準軌の総計)
3. 高速試験区間 630m(最高速度60km/h)
4. 耐久試験区間 1,350m
5. 電化区間(架線有)380m
6. 曲線条件 R100m, R45m, R30m, R22m, R14m(狭軌)
7. 車庫3ライン 狭軌専用、標準軌専用、狭軌・標準軌併用
8. 車庫内急速充電設備
9. 分岐

KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

P5

播磨実験線 全線配置図



P6

